

平成30年度 宇都宮市立雀宮東小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

人間尊重の教育を基盤として、新たな時代をたくましく創造的に生きていくことのできる心身ともに健康で、思いやりのある心豊かな児童を育成する。

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

雀宮東小学校の歴史と伝統を重んじ、「すなおで かしこく たくましく 責任果たす ひがしの子」の育成を目指し、全教職員が一致協力して、活力に満ち創意工夫をこらした教育活動を展開するとともに、地域に開かれた特色ある学校づくりを推進する。

・目指す児童像

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 豊かな人間性の育成 | 《心豊かで素直な子》 |
| 2 自ら学ぶ能力や態度の育成 | 《よく考え進んで学ぶ子》 |
| 3 体力と気力の増進 | 《健康でがんばる子》 |
| 4 自主的・自律的な態度の育成 | 《決まりを守り責任を果たす子》 |

（合言葉）

すなおで
かしこく
たくましく
責任果たす ひがしの子

・目指す学校像

◆楽しく充実した居がい感のある学校 ◆子供と教師が共に育つ学校 ◆地域とともにある魅力ある学校

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

○（1）《活力あふれる楽しい学校づくり》

児童一人一人のよさを認め、児童にとって居がいのある活力あふれる楽しい学校づくりに努める。児童一人一人を大切にする教育を具現化するため、地域や児童の実態に即した創意工夫ある教育課程の編成に努める。また、教育者としての愛情と使命感をもった教師力の向上に努める。

- ・特色ある教育課程の編成・運用・改善
- ・教職員の資質の向上
- ・認め励ます教育の充実
- ・学年・学級経営の充実

○（2）《豊かな心の育成》

全教職員の共通理解のもと、のみどり活動を中心とした体験活動を充実させるとともに、道徳教育・読書活動の充実を図り、児童一人一人に感謝の心や思いやり、想像力などの豊かな心を養う。

- ・体験活動の工夫と充実
- ・道徳教育の充実
- ・読書の奨励

○（3）《確かな学力の定着》

分かる授業の展開と基礎・基本の確実な定着、学び合う時間の充実に努め、児童一人一人の学ぶ意欲を高めるとともに確かな学力の定着を図る。

- ・学びに向かう姿勢の育成
- ・基礎・基本の定着
- ・言語能力の育成

（4）《健やかな体の育成》

教科体育を核に体力・気力を養う教育の充実を図り、健康で安全に生活できる能力・態度を育成する。

- ・基礎体力の育成
- ・教科体育の工夫と充実
- ・危機回避能力の育成

○（5）《児童指導の充実》

決まりやマナーを守り、いじめを許さず、児童一人一人が自分で考え行動しようとする態度を育てる。

- ・3つのあ「あんぜん・あいさつ・ありがとう」及び「あいさつ(返事)・姿勢・清掃」の徹底
- ・いじめを許さない態度の育成

（6）《特別支援教育の充実》

特別支援教育の視点に立った授業改善を図り、全校体制で配慮を要する児童への支援の工夫に取り組む。

- ・特別支援教育の視点に立った授業改善
- ・配慮を要する児童への支援の工夫

○（7）《地域とともにある学校づくり》

家庭・地域・地域学校園との連携を密にし、地域の教育力を生かした学校づくりに努める。

- ・地域との交流活動の充実
- ・情報の効果的な発信
- ・小中一貫教育の推進

（8）《勤務時間を意識した働き方の推進》

新しい時代の教育に向けた学校における働き方の推進に向けて、適切な勤務時間の設定ができるよう改善を図り、校内の業務の効率化・簡略化に努めるなど学校運営の適正化に努める。

- ・業務の適正化
- ・教職員の勤務時間管理の徹底
- ・適切な勤務時間の設定ができるような改善
- ・月1回以上の「学校リフレッシュデー」を導入
- ・地域との交流活動の充実
- ・情報の発信
- ・小中一貫教育の推進

[雀宮地域学校園教育ビジョン]

一人一人が自らのよさを自覚し、主体的に学ぶ児童生徒の育成
～いきいきとした活動を通して～

4 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

<p>【 学校運営 】</p> <p>○ 学校・家庭・地域の連携を基盤とし、児童一人一人が自らのよさを発揮しながら生き生き学べる学校づくりを推進する。校内の業務の適正化に努め、勤務時間を意識した働き方を推進する。</p> <p>【 学習指導 】</p> <p>○ 友達との関わりの中で、学びを生かす児童の育成～ユニバーサルデザインの視点をもった授業の実践～</p> <p>【 児童生徒指導 】</p> <p>○ 豊かな心と正しい判断力を持ち、自ら進んで行動できる児童の育成</p> <p>【健康（保険安全・食育）・体力】</p> <p>○ 生涯を通じて健康な体を維持し、体力・気力を向上していくための基盤づくり ～自分の健康に関心を持ち、進んで健康・体力の増進に励むとともに、自他の安全に配慮できる児童の育成～</p>

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	<p>A1 学校は、活気があり、明るくいいききとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「私は、今の学校が好きです」⇒児童の肯定的回答85%以上</p>	<p>・<u>学ぶ意欲の向上と基礎・基本の確実な定着を図る授業を目指して、ユニバーサルデザインの見地に立った授業を行ったり、児童同士が学び合う時間や場を設けたりするなど、指導方法の工夫・改善に取り組む。</u></p> <p>・<u>学校生活全体を通して、児童が活躍する場、発達段階に応じて主体的に活動する場を意図的に増やしていく。</u></p> <p>・努力している児童を称賛することで、自信をもって活動に取り組めるようにしていく。</p>	B	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答は、95.7%で、目標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き、学び合う時間や場を意図的・計画的に設けたり、ユニバーサルデザインの見地に立った授業を行ったりするなど、全教職員共通理解のもと、分かる授業・楽しい授業を目指して学習指導に当たる。 ・次年度も継続して、すずどんチャレンジ（漢字・算数）などに取り組み、さらなる基礎・基本の定着を図る。 ・これからも居がいのある学級づくりや学校行事等を通して、活気があり、明るくいいききとした雰囲気のある学校の実現に向け、全教職員一丸となって取り組む。 ・今後も、児童を認め励まし称賛できるような態勢で臨み、児童の自己肯定感を高めていく。</p>
	<p>A2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「先生方は大切なことを熱心に指導してくれる」⇒児童の肯定的回答85%以上 ※ 保護者・地域住民の肯定的回答、保護者会・授業参観での感想・意見等から総合的に評価</p>	<p>・教職員同士が情報交換を密に行うなどして児童理解を深め、一人一人のニーズを把握して、適切かつ迅速に指導・支援する。</p> <p>・児童の学力・学習・生活状況をきめ細かに把握し、児童の実態に応じた指導に努めるとともに、家庭と連携・協力して困り感の解消等に取り組む。</p> <p>・全教職員共通理解のもと、3つのあ「あんぜん・あいさつ・ありがとう」及び「あいさつ(返事)・姿勢・清掃」の指導にあたる。</p>	B	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答は98.9%で、目標を達成している。かがやきルーム、のみどり教室による支援も順調に実施されている。特に、本年度新設した特別支援学級（にじいろ）では、配慮を要する児童への支援の工夫が行われている。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き、教職員での情報交換の時間を毎月実施し、児童理解を深める。 ・全教職員が、教材研究と授業研究を中心とした授業力の向上に取り組んだところ、児童一人一人の基礎・基本の定着が図られたので、今後も学習指導の充実に努める。 ・今後も教育相談の時間を確保するなどの充実を図り一人一人のニーズを把握していく。 ・これからも児童理解を深め、家庭との連携のもと指導にあたり、さらに信頼関係を築いていく。 ・全教職員共通理解のもと、3つのあ「あんぜん・あいさつ・ありがとう」において、児童が主体的に取り組めるように指導にあたる。</p>

<p>A 3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「児童は授業と生活のきまりやマナーを守って生活している。」 ⇒児童の肯定的回答85%以上</p>	<p>・「よい子の一日」「よい子の学習のきまり」を活用して帰りの会等で毎日の活動を振り返り、規律ある学校生活が送れるようにする。</p> <p>・生活目標の周知や振り返りの仕方などについて児童が主体となった活動を展開して、児童一人一人がきまりを意識して生活できるようにする。</p> <p>・「すなおで かしこく たくましく 責任果たす ひがしの子」の合言葉を意識させ、よりよく成長しようとする意欲を高める。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答は90.9%で目標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き、「よい子の一日」「よい子の学習のきまり」を活用して、児童が正しく判断し責任ある行動がとれるよう指導したり、いじめゼロ運動やあいさつ運動を行ったり、帰りの会等で毎日の活動を振り返り、児童が授業と生活のきまりやマナーを守った学校生活を送れるようにする。</p> <p>・今後とも、生活目標の周知や帰りの会等での振り返りの仕方などについて、児童が主体となった活動を展開して、一人一人がきまりを意識して生活できるようにする。</p> <p>・これからも「すなおで かしこく たくましく 責任果たす ひがしの子」の合言葉をより一層意識させ、よりよく成長しようとする意欲を高める。</p> <p>・教育相談週間を実施するとともに、日常的に児童と向き合い、一人一人の児童が居がいを感じて学校生活を送れるよう今後とも支援に努める。</p>
<p>A 4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」 ⇒児童の肯定的回答85%以上</p> <p>※ 教職員の肯定的評価、習熟度別学習の実施状況、年間指導計画の自校化の進捗状況等から総合的に評価</p>	<p>・学習のねらいを明確化し、「分かる授業」の具体的方策を工夫し実践するとともに、振り返りの時間を設けることで、授業力を高め、学力向上を図る。</p> <p>・<u>学習意欲の向上をめざした教材・教具、ICTの活用、学び合いを取り入れた学習形態の工夫による分かりやすい授業の展開に努める。</u></p> <p>・発達の段階に応じた適切な量の宿題を課すとともに、家庭での協力を働きかけ、家庭学習の習慣づけをする。</p> <p>・ユニバーサルデザインの視点にたった授業展開を行い、どの子にも分かる授業を目指す。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答は、98.2%で、目標を達成している。昨年度より学校課題研究として取り組んできた教材・教具やICTの活用、さらに学習形態の工夫や授業改善により、分かりやすい授業展開の定着が図れた。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き、分かる授業の実現に向けて、学習意欲の向上をめざした分かりやすい授業展開に取り組んでいく。</p> <p>・今後とも、教材研究と授業研究を中心とした授業力の向上に取り組み、習熟度別学習やT・T、ペア学習、かがやきルーム、のみどり教室の活用など学習形態を工夫し、児童一人一人を大切にしたいきめ細かな指導を継続して行う。</p> <p>・全教職員が、指導と評価の一体化を踏まえ、学習指導案を検討するとともに、児童が主体的に学ぶ授業の在り方（全教職員が1人1授業を見せ合い、事前の指導案検討や事後の授業研究で、より良い授業を構築していくことを継続する）を研究し、これからもチーム雀宮東小として、授業力の向上に取り組む。</p> <p>・これからも本年度の研究の成果を生かし、ユニバーサルデザインの視点にたった授業展開を行い、どの児童にも分かる授業を目指す。</p> <p>・今後も、学習習慣の個人差をうめるために、家庭や本人への更なる啓発を行う。</p>

<p>A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「先生方は、いじめが許されないことを、熱心に指導してくれる」⇒児童の肯定的回答85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止基本方針に基づき、全教職員が共通理解のもと、日頃から情報交換を行い、全校体制でいじめ根絶に取り組む。 ・年間4回のアンケート調査や教育相談、Q-Uを活用して、いじめの早期発見・解消に努める。 ・いじめ根絶標語の募集・いじめゼロなかよし集会などを通して、児童が主体となっていじめを追放しようという意識を育てる。 	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答は97.8%で目標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後とも、本校のいじめ防止基本方針を全職員が共通理解したうえで、全校体制でいじめ根絶に取り組む。また、学校全体で情報を共有する。 ・全校児童に対して、年間4回の教育相談週間を実施したり、児童一人一人の日常の様子を観察・支援したところ、児童は学校に居がいを感じた生活が送れたので、今後も、アンケート調査や教育相談、Q-Uを活用して、いじめの早期発見・解消に努める。 ・これからも、いじめ根絶標語の募集・いじめゼロなかよし集会などを通して、児童が主体となっていじめを追放しようという意識を育てる。 ・学年懇談や「学年だより」において、小さな課題についても学校の子供たちの様子として保護者に伝えるようにする。また、校内児童指導対策委員会を中心に、組織として、いじめの未然防止に向けた取組を充実させる。 ・いじめ防止基本方針については、市教委の指針を踏まえ、いじめ防止基本方針を平成30年改訂・ホームページで公表した。これからも、日々の生活の中で、随時、様々な機会をとらえ、児童と積極的に触れ合い、その中から、様々な情報を得て、児童の悩みに気付いていくようにする。今後も、道徳の授業や教育相談を充実させながら、いじめ根絶に向けて指導していく。さらに、学校便りや学年便り、校内掲示等を通して、いじめ根絶に向けた学校の取組を発信していく。
<p>A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「学校の日課、授業、行事などは、適切に実践されている。」⇒保護者・地域住民の肯定的回答85%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時間の確保に努め、前年度の反省や各行事の記録を生かしながら教育課程を実施する。 ・児童や学級の実態を考慮しながらPDCAを行い、より良い授業や行事を実施する。 	<p>【達成状況】 保護者・地域住民の肯定的回答は、それぞれ98.2%、100%で目標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後とも、教職員が児童と向き合う時間の確保に向けて、行事の振り返りや中間評価を活用する。また、充実した教育活動の実施に向け、行事の精選にも努める。さらに、新教育課程を見据え、週案等により時数を管理するとともに、宇都宮市学校教育スタンダードに基づき各種計画を設定する。 ・これからも校務運営委員会や学年会の機能を生かし、教育活動の工夫・改善に向けた取組を継続するとともに、行事などの充実のため、反省を踏まえた次年度の方向性を検討するなどして学校全体の活性化を図る。さらに、雀宮地域学校園として共に学ぶ教育活動についても検討し、年間行事計画に位置づけていく。 ・PDCAを行い、今後も、教育課程の反省・改善点を次年度に生かし、より良い計画立案とその推進に努める。

<p>A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している。」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答85%以上</p>	<p>・学校だより、学年だよりなどの定期的な発行に加え、ホームページを定期的に更新するなど、積極的に情報発信する。また、地域協議会の活動について、より一層効果的な広報を行う。</p> <p>・土曜授業、「うつのみやオープンスクール」を含め、学校公開を年間2回以上実施する。効果的な学校開放のあり方を工夫する。</p> <p>・保護者・地域住民に「特別の教科道徳」への理解と協力を得るため、授業参観で全学級授業公開する。</p>	<p>【達成状況】 保護者・地域住民の肯定的回答は、それぞれ96.7%、95.7%で目標を達成している。学校だより、学年だより、給食・保健・図書館などの各種たよりを配布するとともに、地域回覧やホームページで情報発信に努めたり、学校行事などの活動を積極的に公開したところ、保護者や地域の方々には学校教育活動への理解が深まった。</p> <p>【次年度の方針】 ・今後も、学校のホームページの定期的な更新、学校だより、学年だより、地域協議会だよりなどを定期的に発行し、学校の情報を発信する。保護者や地域住民の方へ情報提供を行うことで学校の方針や取組を理解してもらえよう努めていく。</p> <p>・今後とも、土曜授業、「うつのみやオープンスクール」を含め、学校公開を年間2回実施し、児童の活動状況を参観できる機会を位置付け、PTAや地域住民への積極的な情報提供を進めるとともに、意見や要望を受ける機会を確保し、多方面からの声を学校運営に生かせるようにする。</p> <p>・これからも、道徳教育への保護者の理解を深めるため、授業参観において全学級で授業を公開する。</p>
<p>A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「学校は家庭・地域・企業等と連携・協力して教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答85%以上</p>	<p>・PTA、学校支援ボランティアを広く募集し、教育活動の充実を図る。</p> <p>・各学年とも地域ボランティアや「街の先生」など、外部指導者を招いての授業を実施する。また、学習支援ボランティアによる活動、雀老連との交流学习の効果的な実施のあり方を工夫する。</p> <p>・PTA、地域協議会、地域学校園、近隣高校などと連携を図りながら、<u>地域・家庭と協同して教育活動の充実を図る方策を工夫する。</u></p>	<p>【達成状況】 保護者・地域住民の肯定的回答は、それぞれ95.2%、95.5%で目標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】 ・PTA、学校支援ボランティアを広く募集し、教育活動の充実を図るについては、高い専門性を有する人材の参加を積極的に進めるとともに、地域の各種団体や学校支援ボランティアの支援を得た取組を継続し、地域の教育力を生かした教育活動を推進する。</p> <p>・今後とも、水泳競技大会や陸上競技大会の練習では、地域にある近隣高校と連携し、児童の指導にあたる。</p> <p>・これからも、新聞社、県内プロスポーツチーム、スイミングスクールと連携して児童の資質向上に努める。</p> <p>・地域安全マップ作り・ミシン補助・校外学習引率など、学習支援ボランティアの協力を得て児童の指導にあたるなど、これからも地域にある施設や史跡などの教育資源を活用したり、体験的な活動を取り入れたりして教育活動の充実を図る。</p> <p>・雀老連による『ぼうじぼ作り』などの交流を計画的・効果的に取り入れていくなど、外部指導者を招いての授業については、これまでの取組を継続し、地域コーディネーター等との連絡・調整を密にし、地域人材を有効活用する。定期的に話合いの場を設け、地域の教育力を生かした教育活動が展開できるように努める。</p> <p>・今後とも、地域の人材や企業や学生を積極的に活用していく。また、学習支援ボランティアを募集するなどして教育活動の充実を図る。</p>

<p>A9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「学校は、荷物や備品が整理整頓されるなど、学習しやすい環境である。」</p> <p>⇒保護者の肯定的回答85%以上</p>	<p>・学校環境をよりよくしようとする主体的な態度を育てる。</p> <p>・校舎内外の整備保全や、教材教具の整備に努め、学習意欲を高めるとともに、学習内容に沿った教室掲示を心がけ、学びに向かう環境を整備する。</p> <p>・清掃の仕方やトイレの使い方の指導などを繰り返し、具体的に行う。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>保護者の肯定的回答は93.2%で目標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き学習意欲を高める環境を整備する。 全教室統一された掲示を行い、共通理解のもと、学習意欲の向上を目指す。 今後とも、校舎内の巡視をするとともに、月1回施設・設備の安全点検を実施し、必要な箇所の修繕を迅速に行い、児童に好ましい学習環境の整備に努める。 本年度提示した「清掃の仕方や清掃用具の入れ方、トイレのスリッパの位置」など視覚的な表示を活用し、環境を整え、具体的な指導を行う。特に、環境が人をつくることを意識し、毎日の清掃活動に主体的に取り組ませる。 これからも施設・設備の点検・修繕を、日常的・定期的に行い、危機の未然防止の対策（修繕・整備）として、迅速に対応する。今後も、予算の増額を市教委に要望するとともに、予算の計画的な活用をさらに進める。
<p>A10 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「学校は、小学生や中学生が交流する活動を行っている。」</p> <p>⇒児童の肯定的回答85%以上</p>	<p>・<u>教職員の乗り入れ授業（中→小：年6回、小→中：年4回）を積極的に行い、中学校への移行をスムーズにする。</u></p> <p>・<u>地域学校園で行われる南図書館清掃に積極的に参加するよう呼びかけ、中学生との交流の機会を増やす。</u></p> <p>・<u>宮っ子チャレンジウィーク（中学生による職場体験学習）で来校した中学生に、中学校の様子を6年生に伝えてもらう時間を確保し、中学校生活への疑問・不安の解消を図る。</u></p> <p>・<u>地域学校園における共通の取組（ドッジボール大会・運動会のソーラン・給食マナー週間等）を推進する。</u></p>	<p>【達成状況】</p> <p>児童の肯定的回答は87.4%で、目標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の正しい言葉づかいとあいさつが定着するよう、今後も雀宮地域学校園で連携し、児童生徒指導に協働的に取り組む。 これからも、宮っ子チャレンジウィークで来校した中学生に、中学校の様子を6年生に伝えてもらう時間を確保し、中学校生活への疑問・不安の解消を図る。 今後も、宮っ子チャレンジウィークで来校した中学生と各学年の児童が交流できる時間を確保する。 6年生による中学校訪問を有効に活用する。
<p>A11 多様な専門性を有する学校スタッフの活用により、教員の業務が縮減されている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「多様な専門性を有する学校スタッフの活用により、教員の業務が縮減されている。」</p> <p>⇒教職員の肯定的回答85%以上</p>	<p>・多様な専門性を有する学校スタッフの参画に当たっては、<u>学校経営方針の具現化に向けて活用する。</u></p> <p>・<u>学校スタッフと教員との連携・分担把握</u>に留意し、教員の業務を縮減する。</p> <p>・<u>事前の打合せや事後の振り返り</u>をしっかりと行い、教員の業務を縮減する。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>教職員の肯定的回答は86.4%で目標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き校内支援体制を整備するとともに、事前の打合せや事後の振り返りをしっかりと行い、教員の業務を縮減できるよう取り組んでいく。 今後とも、教育目標実現のため、地域とともにある学校づくりの実現に向け、校内の業務の適正化に努め、勤務時間を意識した働き方改革に取り組み、学校の支援体制の整備に取り組む。

	<p>A12 教員は多様な専門性を有する学校スタッフと円滑なコミュニケーションが図れている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「教員は多様な専門性を有する学校スタッフと円滑なコミュニケーションが図れている。」 ⇒教職員の肯定的回答85%以上</p>	<p>・<u>児童の実態把握や支援方策, 役割分担について, 教員と学校スタッフが共通理解する。</u></p> <p>・学級担任との連携・分担について, それぞれの役割を明確にしつつ, 適切かつ適正な教育活動が行われるよう, 円滑なコミュニケーションを図る。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は95.5%で目標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】 ・今後も, 児童の実態把握などについて, 全職員と学校スタッフが共通理解する時間を確保する。</p> <p>・これからも, 学級担任と学校スタッフ連携し, 適切かつ適正な教育活動が行われるよう, 定期的な打ち合わせを行う。</p> <p>・教育目標実現のため, 地域とともにある学校づくりの実現に向け, 適切かつ適正な教育活動が行われるよう, 多様な専門性を有する学校スタッフと円滑なコミュニケーションに取り組む。</p>
	<p>B1 学校は, 様々な教育活動を通して, 児童の主体性を育むよう努めている。</p> <p>【数値目標】 全体アンケートの「児童は, 学校行事や縦割り班, 児童活動に主体的に取り組んでいる。」 ⇒保護者・児童の肯定的回答85%以上</p>	<p>・<u>運動会や遠足, 縦割り班での活動, 児童会活動等において, 児童の意見を反映させたり主体的な活動の場を設定したりする。</u></p> <p>・代表委員会の活動を通して, 児童が自分たちの力で学校を良くしていこうとする意識をもてるようにする。</p> <p>・<u>児童の自己肯定感を高めるため, 良さを認め, 励まし, 称賛する機会を増やす。</u></p>	<p>【達成状況】 保護者・児童の肯定的回答は, それぞれ93.5%, 94.6%で目標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】 ・これからも, 代表委員会の活動内容を明確にし, 自分たちの力でより良い学校にする意識付けを図る。</p> <p>・児童会を中心に, 縦割り班活動における交流活動の機会を意図的に設定し, 本校のよさを生かした特色ある教育活動を推進する。</p>
<p>教育活動の状況</p>	<p>生 活 A13 児童は, 進んであいさつをしている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「児童は, 時と場に応じたあいさつをしている。」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答80%以上</p>	<p>・<u>地域学校園と連携したあいさつ運動強化週間を年2回実施し, 児童の意識啓発を図る。</u></p> <p>・毎月, 学級ごとに当番となり, あいさつ運動を継続的に実施するとともに, あいさつの合言葉を使って児童の意識を高める。</p> <p>・集会等の活用, 掲示物や生活当番による呼びかけなどを通して, あいさつの大切さについて児童への啓発を行い, 児童の意識を高める。</p> <p>・保護者・地域の方など, 来校者への積極的なあいさつを推進していく。</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答は86.1%, 地域住民の肯定的回答は84.0%で共に目標を達成している。しかし, 地域住民は昨年より下回っており, 課題が見られる。今後は, 児童自身が主体的にあいさつできるようにさせることが課題である。</p> <p>【次年度の方針】 ・今後とも, 地域学校園と連携したあいさつ運動強化週間に合わせて, 「進んであいさつしよう週間」を実施する。成果が分かるように一覧表を付けることで, 家庭に啓発を行うと共に, 子供たちから進んで挨拶をするように意識付けを図る。今後も, 学校・家庭・地域が協力しながら, あいさつの活性化に向けて指導していく。また, 雀宮地域学校園と連携した小中連携のあいさつ運動を継続していく。</p> <p>・これからも, 各教室の廊下にあいさつのパネルを掲示し, 生活当番による呼びかけなどを通して, あいさつの大切さについて児童への啓発を図る。</p> <p>・あいさつの場面では「いつでも どこでも だれにでも 何度でも」を教職員が率先して行う。さらに, 児童の地域住民の方々へのあいさつについて, 長期休業前には, 地域の方々へのあいさつを心掛けるように指導する。</p>

	<p>A14 児童は、正しい言葉遣いをしている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「児童は、時と場に応じた言葉づかいをしている。」</p> <p>⇒保護者・地域住民の肯定的回答80%以上</p>	<p>・「よい子の一日」を効果的に活用しながら、時と場に応じた言葉遣いや目上の人に対する言葉遣いについて指導する。</p> <p>・学級活動、道徳の時間等において、言葉遣いの大切さについて計画的に指導する。</p> <p>・不適切な言葉遣いは、「その都度」、「その場で」指導することに全校体制で取り組み、教師が範を示す。</p> <p>・友達同士で呼び合うときに「～さん」を付けることを指導する。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>保護者の肯定的回答は90.0%で目標を達成しているが、地域住民の肯定的回答は78.3%で目標を下回っているため、課題が見られる。児童の正しい言葉づかいが定着するよう、雀宮地域学校園で連携し、児童生徒指導に協働的に取り組んだが、十分でなかった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・全教職員の共通理解のもと、授業中や学校生活におけるいろいろな場面で、場に応じた言葉づかいができるよう継続的に指導し、児童が正しい言葉づかいができるようにする。特に、道徳を要とし、目上の人への言葉づかいとあいさつについて、教職員との会話等を通して、日常的に指導する。</p> <p>・「進んであいさつしよう週間」の一覧表に、言葉遣いの項目も設けて、家庭への啓発を兼ねて実施する。</p> <p>・これからも、「学校だより」「学年だより」・学年懇談の際に、学年に応じた具体的な場面を例に挙げて保護者に啓発を行う。</p> <p>・児童の正しい言葉づかいが定着するよう、今後も雀宮地域学校園で連携し、児童生徒指導に協働的に取り組む。さらに、日常の継続的な言葉づかいについて、子ども一人一人に考えさせながら、時と場に応じた言葉づかいの意識化を図るだけでなく、家庭や地域からも児童の様子を伝えていただくことで、学校・家庭・地域が一体となってより一層指導の充実を図っていきけるようにしていく。</p>
<p>健康・体力</p>	<p>A15 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケートの「児童は、休み時間や放課後などに積極的に運動している」</p> <p>⇒児童の肯定的回答80%以上</p>	<p>・運動量を確保した体育の授業(含サーキットトレーニング)や休み時間等、一日一回は外遊びができるように努める。(運動ミニマム・元気っ子チャレンジ達成への継続的な指導)</p> <p>・<u>運動能力検定表(水泳・鉄棒・なわとび)やマラソンカードの積極的な活用を図る。</u></p> <p>・「元気なときは歩いて登下校」の指導を全教職員共通理解のもと推進していく。</p> <p>・体育の授業やドッジボール大会を活用して、投力の向上に努める。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>児童の肯定的回答は89.1%で目標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・引き続き、体育的な行事に合わせて、各種検定を実施したり、体力を向上させるような環境を整備したりして、体力向上への意欲、運動の習慣化を図る。</p> <p>・これからも、体力テストの結果分析をもとにバランス良く運動能力を高めていくようにする。特に瞬発力・筋力を高めるための補助運動を取り入れるようにする。</p> <p>・今後も、6年間の成長・努力が見られる検定カード(水泳・なわとび)を活用し、児童が意欲をもって運動に取り組めるようにする。</p> <p>・児童の運動する機会を増やすために、うつのみや元気っ子チャレンジに参加するよう呼びかけるとともに、体力向上への意欲が継続するよう、健康や体力についての記録を知らせ、保護者への啓発活動に努め、より一層の体力の向上を図る。さらに、地域の教育力を生かし、児童が進んで運動する習慣を身に付けていけるよう、学校、家庭、地域が連携して取り組んでいく。</p>

<p>A16 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「児童は、好き嫌いなく給食を食べている。(嫌いなものでも1口は食べている。)」</p> <p>⇒児童の肯定的回答 80%以上</p> <p>※ 残菜調べの結果、教職員による観察結果等から総合的に評価</p>	<p>・食育日より、保健だよりの配付や継続的な指導を通して、正しい食習慣を身に付け、健康の保持・増進に努めようとする態度を育てる。</p> <p>・「お弁当の日」の充実を図るとともに<u>食育ファイルに蓄積したり、食のマナー強化月間を設定したりする。</u></p> <p>・学校栄養士の授業への参画や、お昼の校内放送での「給食一口メモ」により、児童の栄養についての意識を高める。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定割合は 93.8%で目標を達成している。残菜の状況は和食系のメニューの時に多いが、残量は減少傾向にある。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・これからも望ましい食習慣と食事マナーが身に付くよう、年間を通してランチルームを活用し、異学年や7学年の教職員との交流給食を実施する。</p> <p>・引き続き、食育だよりを継続的に発行し、苦手な物でもバランスを考えて、今後も一口でも食べるという共通指導を継続する。特に、バランスの良い食生活や好き嫌いせずに食べる指導を、家庭との連携を図りながら継続的に行う。また、バランスのとれた食事の摂取と、肥満対策について学校医と協働して取り組む。さらに、委員会活動等で、地産地消の紹介をするなどし、食に対する興味関心を高めていく。</p> <p>・これからも、食育日よりへの給食のレシピの掲載、学校ホームページへの給食の写真の掲載、さらに、食育ファイルの利用などを通じて、家庭との連携を図る。</p> <p>・食育について、日常的に給食を中心とした指導を行うとともに、食育便りや保健便りの発行に取り組み、児童の好ましい食習慣や食事のマナーを家庭と共有する。さらに、お弁当の日の実施により、家庭と協働して、児童、保護者の食への関心を高める。</p>
<p>B 2 児童は歯の健康に関心を持ち、食後進んで歯みがきをしている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「私は食後歯みがきをしている」</p> <p>⇒児童の肯定的回答 85%以上</p> <p>※アンケート結果、教職員による観察結果等から総合的に評価</p>	<p>・<u>歯みがきタイム(黒板掲示資料と歯みがき動画)を確保し給食後のブラッシングの継続と推進を図る。</u></p> <p>・養護教諭と学級担任が連携して、健康への関心を高める指導の工夫をする。</p> <p>・保健だよりに歯の健康に関する情報を載せ、歯みがきの習慣化やむし歯の早期治療についての啓発を図る。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定割合は 97.5%で、目標を十分に達成している。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・次年度も継続して、養護教諭が作成したビデオを活用し、しっかりと歯磨きができるよう指導する。</p> <p>・これからも、う歯治療率を上げていけるよう、積極的に保健だよりで知らせたり、長期休業の前に個別に治療勧告をしたりするなど、家庭への啓発を図っていく。</p> <p>・今後も、明るく健康な児童の育成のため、委員会活動を効果的に活用し、児童の健康の保持増進に努める。</p>

<p>学 習</p>	<p>A17 児童は、進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は、授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している。」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答80%以上</p>	<p>・授業において児童同士が話し合ったり、聞き合い伝え合ったりする活動を意図的に設定し、児童同士のよりよい学び合いが成立するようにする。</p> <p>・「家庭学習の進め方」を効果的に活用しながら、学習習慣の定着を図る。また、家庭学習パワーアップウィークを実施し、保護者の理解と協力を得る。</p> <p>・朝の学習の時間を活用し漢字や計算力の定着を図る。</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答は93.5%、地域住民の肯定的回答は100.0%で共に目標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き、自分の考えをもとに、友達と意欲的に意見を伝え合う「学び合う」授業改善を実践し、思いや考えを伝え合う学習の場を設定しながら、児童同士の言語活動を充実させる。 ・これからも、学習訓練の徹底やハンドサインを有効に取り入れながら、積極的に課題解決ができるようにさせ、基礎学力の定着・向上させるとともに、主体的な学びができるように支援を行う。 ・次年度も継続して、朝の活動における「すずどんチャレンジ漢字・計算」の全職員による支援体制を行い、基礎基本の定着を図る。 ・今後も学年の発達に応じたノート指導、自分の考えや意見を整理し考える時間の確保、根拠を明確にしながら発表できる場の設定など、進んで発表する力を付ける指導を推進する。 ・これからも家庭学習パワーアップウィークを実施し、家庭との連携を図りながら、自主学習に重点を置いて取り組ませ、家庭学習の習慣化と質の向上を図る。</p>
	<p>A18 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は、授業中先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している。」 ⇒保護者の肯定的回答80%以上</p>	<p>・「学習のきまり」を効果的に活用しながら、基本的な学習態度の定着を図る。</p> <p>・学びに向かう学級集団を育成するため、一人一人の学習意欲を高める工夫をするとともに、互いに認め合う安心感のある学級経営に努める。</p> <p>・授業の始めに本時のめあてを明示し、児童自身が学習の見通しをもって、授業に臨めるようにする。</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答は94.3%で目標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き、「学習のきまり」を活用し、全クラス共通理解のもと基本的な学習態度の定着を図る。また、学習内容定着度調査結果を分析し、課題を明確化し、児童指導と学習指導を関連付けながら、結果を生かして指導していく。 ・これからも、学習集団の育成の基本である学級経営を充実させ、学びに向かう集団づくりに取り組み、互いに認め合う安心感のある学級を目指すとともに、全児童を全職員で見えていく体制の充実を図る。 ・分かる授業の実現のため、構造的な板書の工夫を研究し、課題（目標）の提示からまとめまでの板書の整理、授業の終末での学習内容や思考を振り返る活動の設定など、知識・技能の定着を図る指導を充実する。 ・児童自身が学習のねらいや見通しをつかむことができるよう、教職員が明確な課題の提示を工夫するとともに、これからも、教材教具の工夫について、教職員間で学び合い、授業力の向上に努める。</p>

<p>A19 児童(生徒)は、地域でのボランティア活動や行事に参加している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童(生徒)は、地域でのボランティア活動や行事に参加している。」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>・雀宮地域文化祭等への作品出品や参加を呼びかける。</p> <p>・PTA奉仕作業やPTAバザーなどの行事に積極的に参加するよう呼びかける。</p> <p>・地域との連携を図り、地域でのボランティア活動や行事への児童・保護者への啓発活動に努める。</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答は76.1%で目標を達成していない。</p> <p>【次年度の方針】 ・これからも地域文化祭等への参加を学年だより等で呼びかけるとともに、雀宮地域学校園や地域協議会を有効活用し、地域との連携を図り、学校・家庭・地域と連携協力し、児童の地域でのボランティア活動や行事への参加を高める。</p> <p>・今後も、地域協議会の協力を得たり、異学年活動の充実を図ったりするとともに、地域の行事に児童が参加する機会を確保しながら地域の人と触れ合うことを通して、思いやりの心や社会性の育成を図る。</p> <p>・引き続き、PTA奉仕作業やPTAバザーなどの行事に積極的に参加するよう呼びかける。また、年間を通してのみどり活動に取り組み、ともに頑張ろうとする気持ちや態度を育成する。また、今後も地域協議会や学校支援ボランティアの支援を得た取組を継続し、地域の教育力を生かした教育活動を推進する。</p>
<p>B3 児童は、進んで読書に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「朝の読書活動の充実により児童はたくさん本を読んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<p>・朝の読書の時間を確保するとともに、読書週間に魅力ある企画を実施するなどして、読書に親しませる工夫をする。</p> <p>・南図書館等を活用し、学習内容に沿った本や児童にとって魅力のある本を用意し、読書意欲を高めるような環境を作る。</p> <p><u>・読書への関心・意欲を一層高めるため、ボランティアによる読み聞かせ、希望者による「本の虫のつどい」を開催する。</u></p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は、100%で目標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き、図書館司書と連携を図りながら、読書への意欲を高める環境作りに努める。</p> <p>・今後も、家庭への啓発を行うため、「家読」の活用を行う。</p> <p>・これからも、読書週間時に委員会活動を通して、読書への関心・意欲を高める。</p> <p>・地域にある市南図書館などの、地域の教育資源を生かした教育活動が展開できるように努める。</p> <p>・次年度も継続して、教育目標実現のため、地域協議会や学校支援ボランティアとの連絡・調整を密に行い、朝の読書活動を効果的に推進する。</p>

<p>本校の特色・課題等</p>	<p>B 4 恵まれた自然環境を利用しながら、体験活動を通して地域に学び、地域のすばらしさに気づき、大切にしていこうとする児童を育成する。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、のみどり活動を通して地域の人々と連携協力して、児童の健全育成に努めている。」 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<p>・種まき、田植え、稲刈り、餅つき、繭玉づくり、どんど焼きなど、児童主体の農業体験活動「のみどり活動」を年間を通じて実施し、自然に親しみ、地域を大切にしていこうとする自覚をもった児童の育成を図る。</p> <p>・PTAや地域協議会、のみどり隊との連携を十分に図り、学校・家庭・地域が協同して教育環境の整備に努める。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は、100%で目標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】 ・地域協議会において、学校経営方針をより浸透できるように十分な説明を行うとともに、課題を明確にし、課題解決に向けた話し合いを充実させる。また、今年度の反省をもとに、ボランティア活動がより効果的に推進できるように、地域コーディネーターとの連携を図るとともに、教職員の役割分担を整理する。これからも保護者、地域と連携・協力した取組を進め、特色ある学校づくりを行う。</p> <p>・引き続き、PTA、地域協議会、のみどり隊等の協力をいただくとともに、各教職員の役割を明確にし、児童・教職員が主体的に参加することで、さらに児童にとって意義のある行事にしていく。</p> <p>・今後も地域協議会やPTAと共通理解を図り、活動の充実を努める。</p> <p>・次年度も継続して、児童に様々な方々の協力で体験活動ができるという意識をもたせ、地域のすばらしさに目を向けられるようにする。</p> <p>・これからも、活動の様子を校内掲示や各種便りなどで紹介し、地域の方へも情報発信していく。</p>
------------------	--	--	--

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

23評価項目の内、21評価項目で目標数値指標を達成することができた。また、19項目（児童生徒）のうち16項目で市の平均を上回っており、望ましい状況である。市の平均より数値指標を下回った3評価項目は、「学校は、小学校と中学校が連携した取組を主体的に行っている。（市平均89.2、雀宮東小87.4）」、「児童は、休み時間や放課後などに積極的に運動している。（市平均89.3、雀宮東小89.1）」、「学校は、いじめ対策に熱心に取り組んでいる。（市平均97.9、雀宮東小97.8）」であり、本校の平成30年度の目標に到達しなかったのは、A19「児童（生徒）は、地域でのボランティア活動や行事に参加している。（保護者76.1%）」、A14「児童は、正しい言葉遣いをしている。（保護者90.0%、地域住民8.3%）」の2評価項目であった。

中でも、「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している。（市平均91.0、雀宮東小97.8）」、「教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている。（市平均86.2、雀宮東小92.2）」、「学校は、小学校と中学校が連携した取組を主体的に行っている。（市平均86.3、雀宮東小91.9）」、「児童は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している。（市平均87.9、雀宮東小94.3）」、「児童は、地域でのボランティア活動や行事に参加している。（市平均67.2、雀宮東小76.1）」、「学校全体に活気があり、明るくいそいそとした雰囲気である。（市平均94.6、雀宮東小97.1）」などの全体アンケートの保護者の肯定的回答率は高く、学校の取組が保護者に継続して理解されていることが分かる。

- ・数値として目標は上回っているが、市平均と本校の保護者と地域住民の回答に差が見られるものとして、「児童は、時と場に応じた言葉づかいをしている。保護者（市平均75.0、雀宮東小90.0）地域住民（市平均85.7、雀宮東小78.3）」と「児童は、時と場に応じた言葉づかいをしている。保護者（市平均75.0、雀宮東小90.0）地域住民（市平均85.7、雀宮東小78.3）」に差が見られるので、次年度は、あいさつの習慣化と児童が自ら主体的にあいさつできるよう、あいさつの意識化・実践化に取り組む。

具体的には、児童会で話し合いをしたり、地域学校園と連携したあいさつ運動強化週間に合わせて、「進んであいさつしよう週間」を実施したりして、児童自身が問題意識をもち、解決策を考え、活動に取り組むことができるようにする。家庭に啓発を行うと共に、子供たちから進んであいさつをするように意識付けを図る。

なお、あいさつの場面では「いつでも どこでも だれにでも 何度でも」を教職員が率先して行う。さらに、児童の地域住民の方々へのあいさつについて、長期休業前には、地域の方々へのあいさつを心掛けるように指導するとともに、家庭や地域と連携を深めながら継続して児童の指導にあたっていく。

- ・「児童（生徒）は、地域でのボランティア活動や行事に参加している。」の保護者の肯定的回答は76.1%で目標を達成していないので、地域文化祭等への参加を学年だより等で呼びかけるとともに、雀宮地域学校園や地域協議会を有効活用し、地域との連携を図り、学校・家庭・地域と連携協力し、児童の地域でのボランティア活動や行事への参加を高めたり、異学年活動の充実を図ったりするとともに、地域の行事に児童が参加する機会を確保しながら地域の人と触れ合うことを通して、思いやりの心や社会性の育成を図る。

- ・「学校全体は活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。」をはじめとする全 23 項目の、保護者の肯定的回答割合は、市の平均を、全て（23 項目）の項目で上回っている。
- ・「児童は、好き嫌いなく給食を食べている。（嫌いなものでも一口は食べている。）」の肯定的回答割合は、教職員・保護者・地域住民・児童のすべてで前年度を上回った。
- ・授業において、学び合う時間や場を意図的に設けたり、ユニバーサルデザインの視点を持った授業展開に努めたりした結果、児童はお互いに自分の考えを伝え合うことができるようになり、さらに、よい学び合いができるようになってきている。

6 学校関係者評価

子供たちはのびのび学習や運動に取り組んでおり、活気もある。

時に応じた挨拶は、大人の押しつけではなく、児童の本音が出るように指導して欲しい。ボランティア活動に参加している人は、思いやりでしてくれていることを学校で指導してほしい。

学校の雰囲気がいい。児童は外に出ると馴れ馴れしく話してしまう。礼儀をもった言葉づかいをすることが大切である。保護者や地域住民である私たち大人が、適切な言葉づかいをするよう心掛け、正しい言葉づかいをする必要がある。そうすると、徐々に変わっていくと思う。保護者や地域住民である私たち大人が児童の手本になるよう取り組み、100%になるよう、さらに伸ばして行って欲しい。

学校外のあいさつについて、1、2年生は、元気にあいさつできるが、高学年になると消極的になる傾向にある。長期休業前だけでなく、随時とか、折に触れて指導してもらいたい。すれ違う人には誰にでも出来るように、当たり前になるようになってもらいたい。これからも継続的に情報提供して欲しい。

今回、地域住民の評価は低いが、神経質になる必要はない。これまでは、地域住民が訳分からずに評価していたのではないだろうか。今は逆に、関心があるから数字が変わってきた。これを続けていけばいい。地域の目は、学校に向いている。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

学校運営の状況、教育活動の状況、学習指導、児童指導、健康・体力、本校の特色などの多くの事項については、概ね目標を達成することができた。

児童の言葉づかいやあいさつの向上については、教職員が児童の手本になるよう取組むとともに、保護者や地域住民の方々に、あいさつ運動への参加を積極的に呼びかけるなどして、全教職員が協働し、地域ぐるみであいさつ運動を展開する。

次年度も、認め励ます教育を一層推進するとともに、ユニバーサルデザインの視点を持った授業を展開し、自己研鑽に努め、信頼される教職員を育て、学校のチーム力を高め、学校運営の状況、教育活動の状況、学習指導、児童指導、健康・体力、本校の特色などについて積極的に公表しながら、今年度の取組を継続・発展させていく。また、学校における働き方改革を踏まえ業務の在り方などを見直し、学校と保護者、地域が協力・連携を図り、地域ぐるみで学習環境を整えていく。

小中一貫教育・地域学校園の取組については、これまでの実践を継続していくとともに、各種便りを工夫するなどして、保護者や地域住民の方々への周知を図っていく。

特に、地域とともにある学校を目指して、積極的な情報の発信・提供に努め、地域に根差し、地域から信頼される学校づくりを推進していく。

誰もが安心して学べ、活力にあふれる学校の実現に向けて、これからも、地域や保護者からの建設的な声を学校運営に反映し、学校改善を図りながら、「すなおで かしこく たくましく 責任果たす ひがしの子」の合言葉のもと、全教職員一丸となって、教育活動の充実に努めていく。